



令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会  
子宮がん部会

# 検診機関毎のプロセス指標について



# 検診機関単位での再集計

市町村が委託している県内の検診機関は限られるため、**検診機関ごとにプロセス指標を合計し再集計**

## → 1 2 検診機関に分類

(一つの市町村で、複数の検診機関に委託している場合で、国のデータ上、検診機関毎にプロセス指標を分離できない場合や検査数が少ない検診機関は集計から除外)

### 検診機関毎の受託状況：市町村数 (2022 (R4) 年度の委託状況)

検診機関	集団	個別
A	23	5
B		2
C-1		2
C-2		1
C-3		1
D		5
E		1
F-1		1
F-2		4
G		1
H		1
I		1
J		2
K		3
L		4
M		1

集計対象

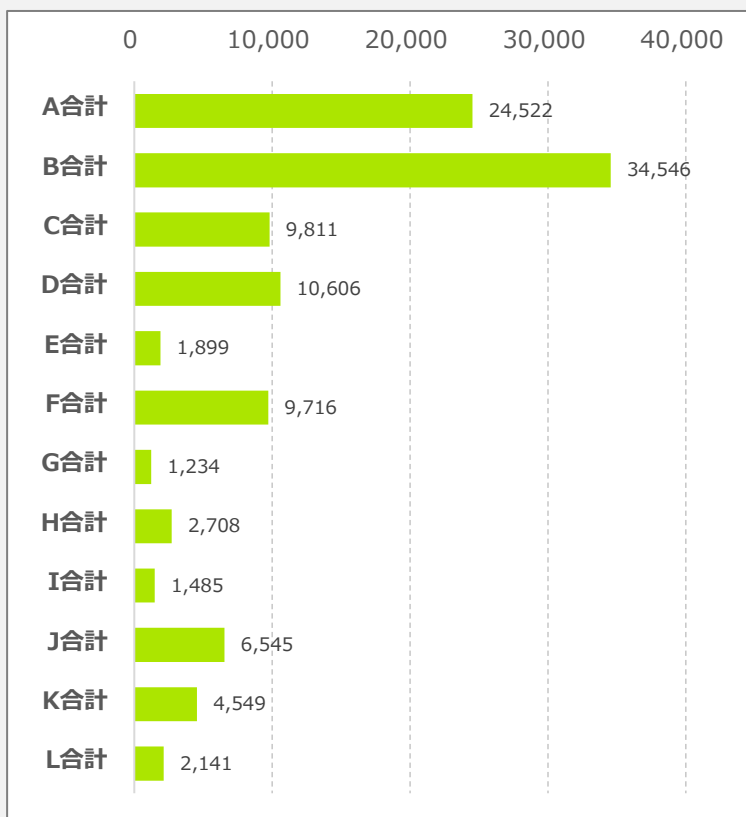


検診機関	集団	個別
A	23	
B		1
C		3
D		5
E		1
F		5
G		1
H		1
I		1
J		1
K		3
L		2

検診機関ごとに分離できない市町村分は除外

Aは、集団のみ（個別を除外）  
Cは、C-1,C-2を合算（C-3除外）  
Fは、F-1,F-2を合算  
Mは、件数が少ないため除外

### 検診機関毎の受診者数（集計対象） (2022 (R4) 年度)



# 検診機関毎のプロセス指標 3年平均（2020－2022年）

プロセス指標（3年平均）					（結果内訳）											
区分	精検受診率	要精検率	がん発見率※	陽性反応適中度※	受診者数	要精検者数	精検受診者数	異常なし	がん	A I S	C I N 3	C I N 2	C I N 3、2 区別不能	C I N 1	疑いのある者又は未確定	以外の疾患
A合計	93.4%	0.9%	0.050%	5.7%	24,522	216	202	2	2	1	9	23	0	57	3	104
B合計	96.0%	2.0%	0.109%	5.4%	34,546	699	671	389	4	7	27	49	1	185	9	1
C合計	97.1%	1.2%	0.071%	6.1%	9,811	114	111	16	2	1	4	13	0	43	1	31
D合計	92.5%	1.1%	0.066%	6.1%	10,606	115	107	0	2	0	5	16	0	37	0	47
E合計	97.9%	1.7%	0.211%	12.4%	1,899	32	32	0	2	0	2	3	0	10	0	14
F合計	97.6%	1.3%	0.079%	6.2%	9,716	123	120	0	1	0	6	14	0	45	0	54
G合計	97.5%	1.1%	0.189%	17.5%	1,234	13	13	0	0	1	1	2	0	4	0	5
H合計	97.8%	1.1%	0.123%	10.9%	2,708	31	30	0	0	0	3	4	0	10	0	13
I合計	93.8%	0.7%	0.090%	12.5%	1,485	11	10	0	0	0	1	2	0	3	0	4
J合計	97.7%	1.1%	0.112%	10.1%	6,545	73	71	0	1	0	6	8	0	24	0	32
K合計	97.0%	1.0%	0.081%	8.1%	4,549	45	44	0	0	1	3	6	0	16	0	18
L合計	96.8%	1.0%	0.078%	8.1%	2,141	21	20	0	0	0	1	4	0	8	0	6
宮城県	95.8%	1.4%	0.087%	6.4%	119,402	1,615	1,547	413	16	11	77	157	1	487	12	373

出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第33-2、5表 令和2～4年度における子宮頸がん検診受診者数… から県で計算  
プロセス指標のため20-74歳を抽出

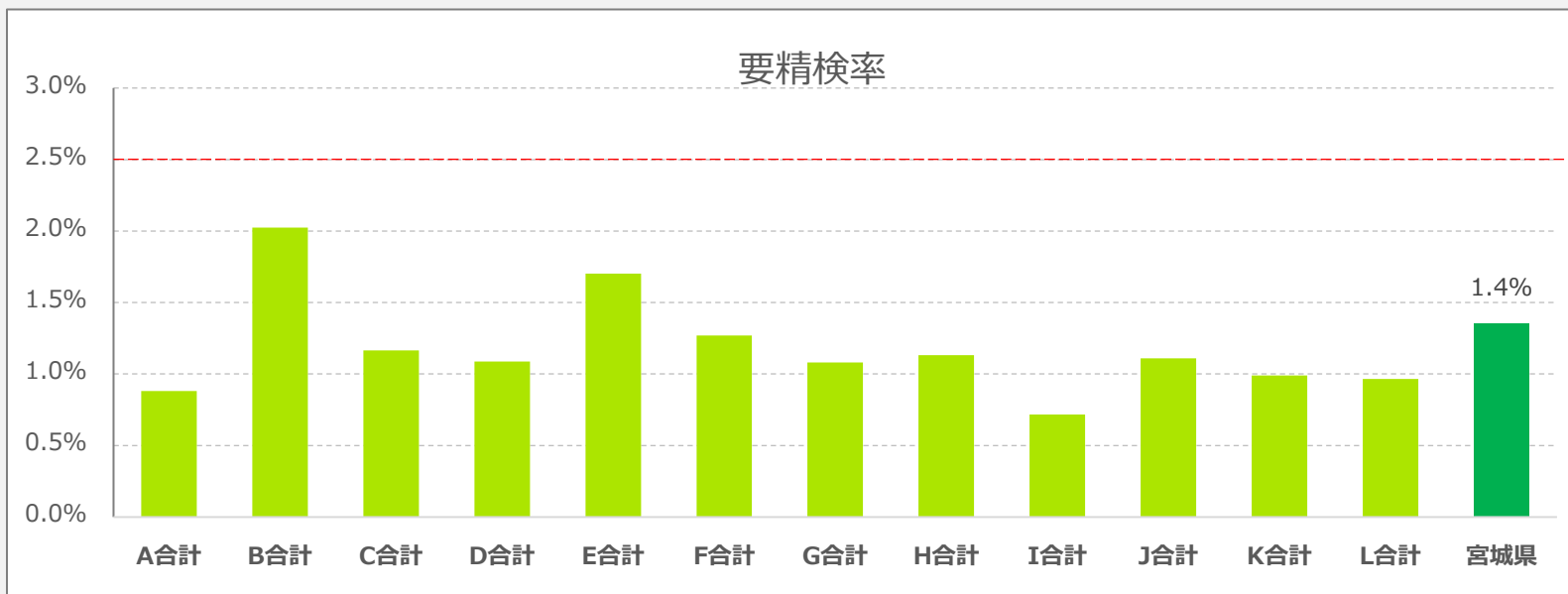
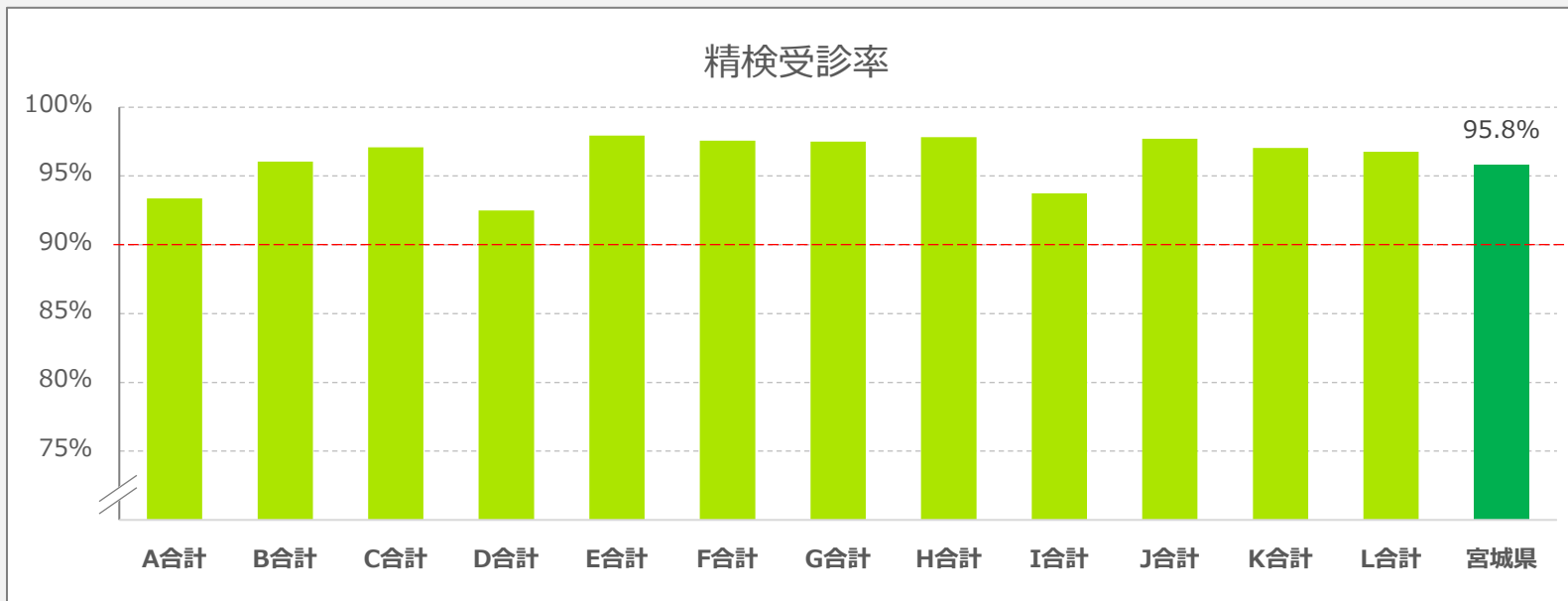
注意：令和2年度から令和4年度までのそれぞれのプロセス指標の3年平均を算出したもの（小数点以下、四捨五入）

※ CIN 3以上（がん+ AIS+ CIN3）

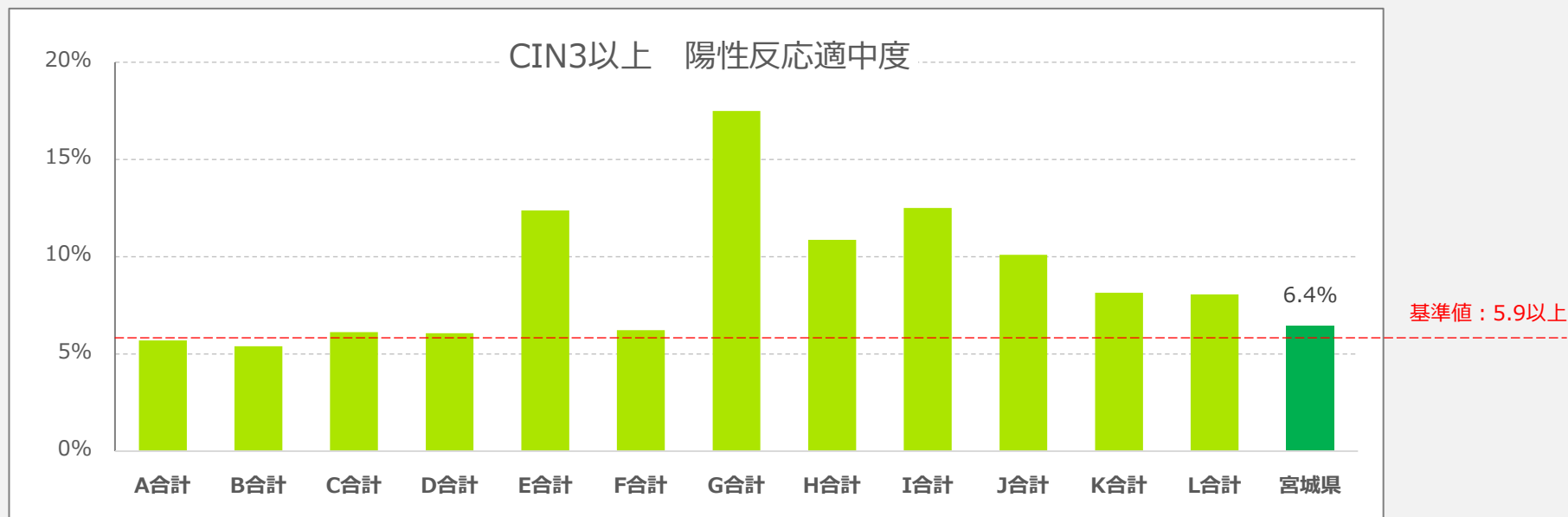
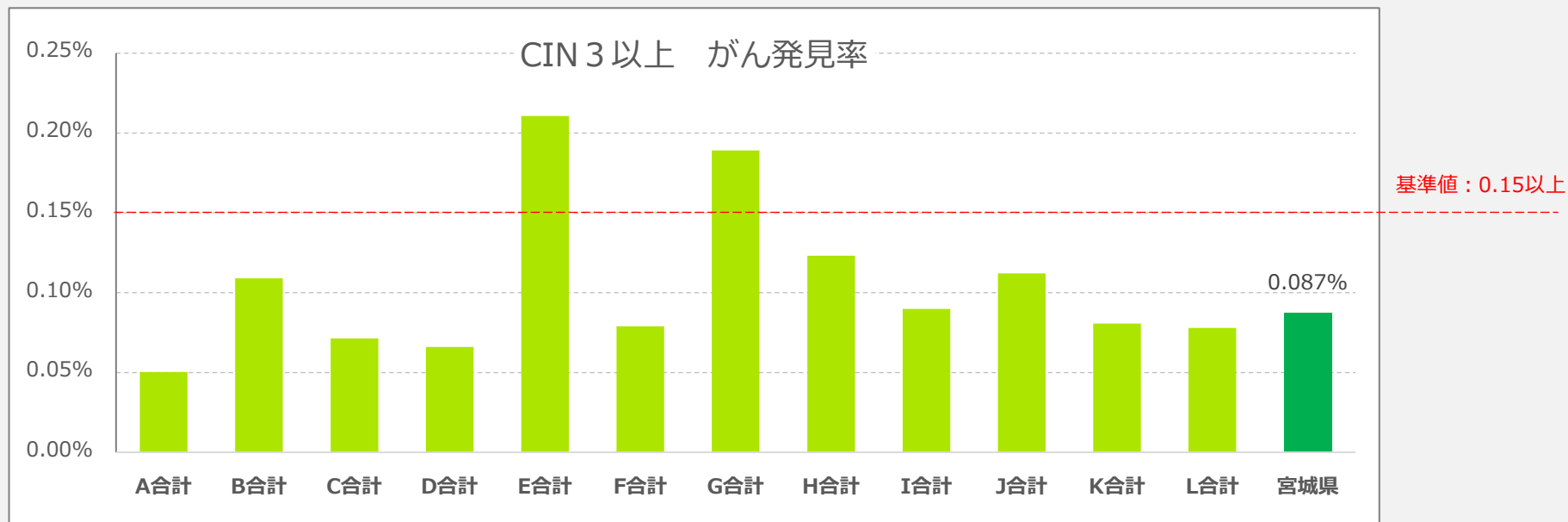
# (参考) プロセス指標の意味と活用方法

	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
		指標	予想される原因	検討内容
精検未受診率	低いことが望ましい	高値	①精検の受診勧奨が適切でない ②精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ②精検受診者の利便性
		低値	0%に近いことが理想	
要精検率	対象集団に応じた適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
陽性がん発見率 反応適中度	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

# 各プロセス指標① 3年平均（2020－2022年）20-74歳（女性）



## 各プロセス指標② 3年平均（2020－2022年）20-74歳（女性）



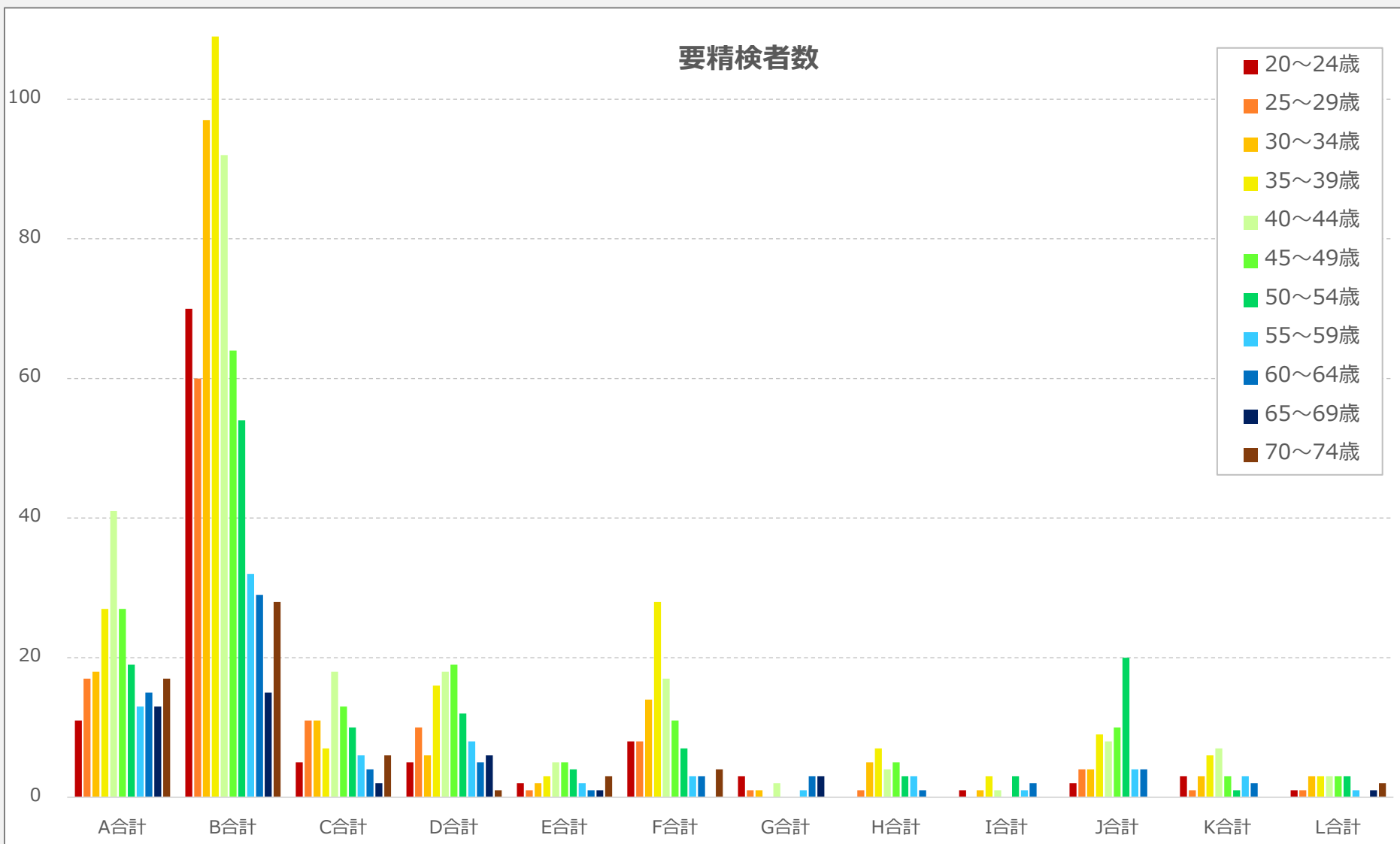
# 検診機関毎の要精検者年齢構成割合（2022（R4）年度）

## 検診機関毎の要精検者数（2022（R4）年、20～74歳、女性）

	要精検者数（2022年のみ）											20-74 歳計	要精検 率
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳		
A合計	11	17	18	27	41	27	19	13	15	13	17	218	0.89%
B合計	70	60	97	109	92	64	54	32	29	15	28	650	1.93%
C合計	5	11	11	7	18	13	10	6	4	2	6	93	0.77%
D合計	5	10	6	16	18	19	12	8	5	6	1	106	1.02%
E合計	2	1	2	3	5	5	4	2	1	1	3	29	1.50%
F合計	8	8	14	28	17	11	7	3	3	0	4	103	1.04%
G合計	3	1	1	0	2	0	0	1	3	3	0	14	1.16%
H合計	0	1	5	7	4	5	3	3	1	0	0	29	0.76%
I合計	1	0	1	3	1	0	3	1	2	0	0	12	0.78%
J合計	2	4	4	9	8	10	20	4	4	0	0	65	0.98%
K合計	3	1	3	6	7	3	1	3	2	0	0	29	0.65%
L合計	1	1	3	3	3	3	3	1	0	1	2	21	1.02%
宮城県	116	121	173	224	234	177	145	87	78	65	79	1,499	1.26%

# 検診機関毎の要精検者年齢構成割合（2022（R4）年度）

検診機関毎の要精検者数（2022（R4）年、20～74歳、女性）





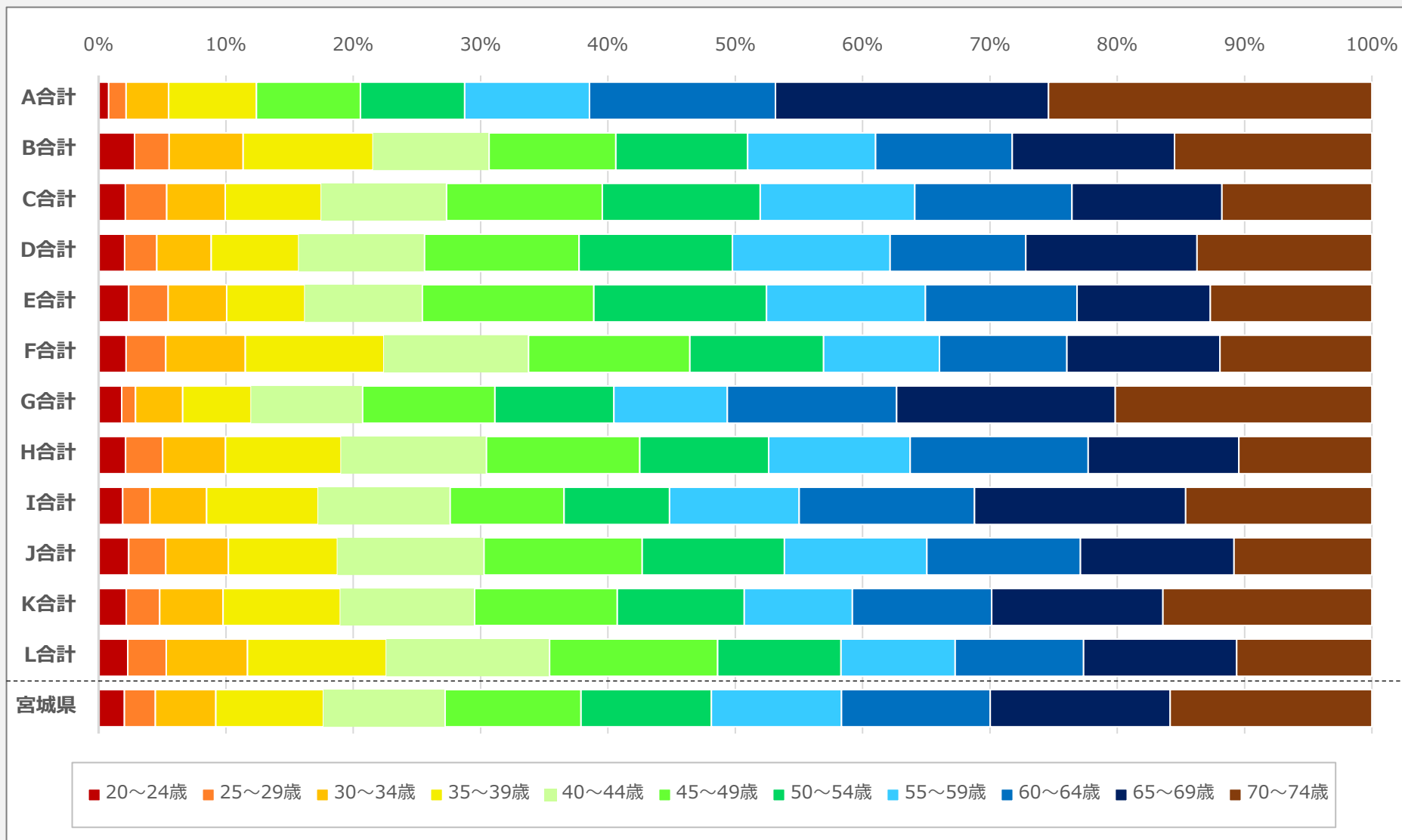
# (参考) 検診機関毎の受診者年齢構成割合 (2022 (R4) 年度)

## 年齢構成割合 (2022 (R4) 年、20～74歳)

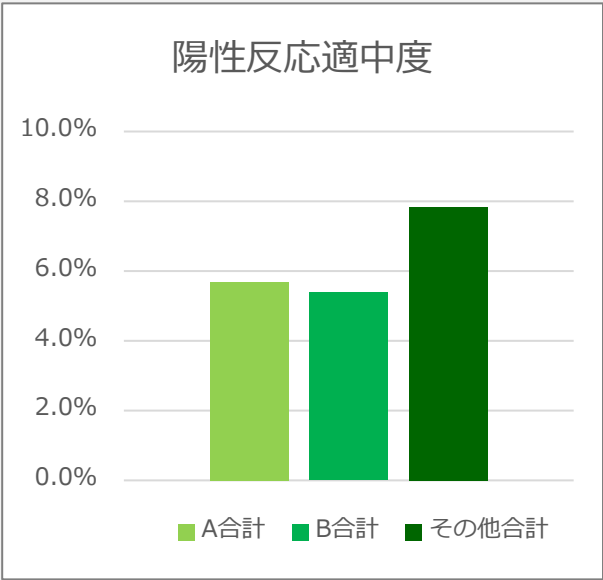
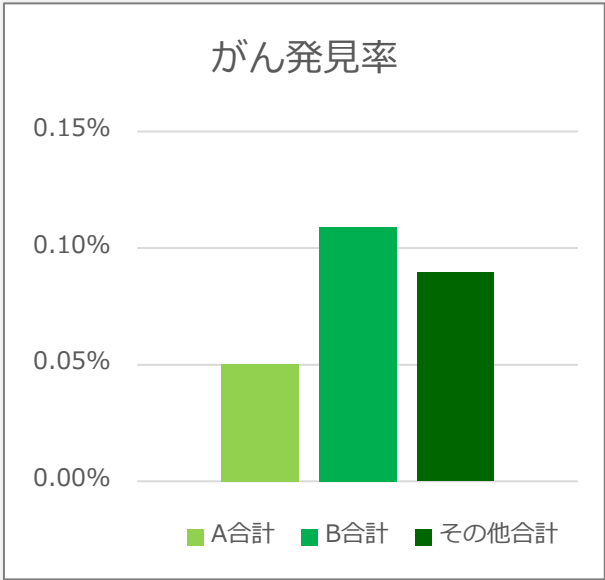
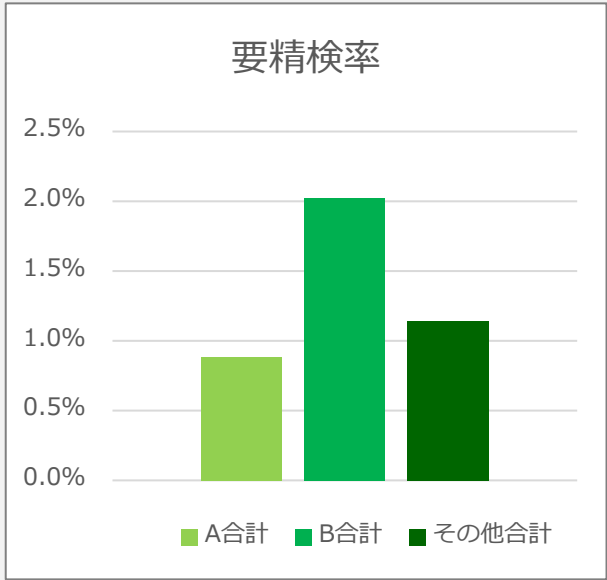
年代	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74
A合計	0.7%	1.3%	3.1%	6.4%	7.5%	7.6%	7.6%	9.1%	13.5%	19.8%	23.5%
B合計	2.8%	2.7%	5.8%	10.2%	9.1%	10.0%	10.3%	10.0%	10.7%	12.7%	15.5%
C合計	2.1%	3.3%	4.6%	7.6%	9.8%	12.2%	12.4%	12.1%	12.4%	11.8%	11.8%
D合計	2.0%	2.5%	4.3%	6.9%	9.9%	12.1%	12.0%	12.4%	10.7%	13.4%	13.7%
E合計	2.4%	3.1%	4.6%	6.1%	9.2%	13.5%	13.6%	12.5%	11.9%	10.5%	12.7%
F合計	2.1%	3.1%	6.3%	10.9%	11.4%	12.7%	10.5%	9.1%	10.0%	12.0%	11.9%
G合計	1.8%	1.1%	3.7%	5.4%	8.8%	10.4%	9.3%	8.9%	13.3%	17.2%	20.1%
H合計	2.1%	2.9%	4.9%	9.1%	11.4%	12.1%	10.1%	11.1%	14.0%	11.8%	10.5%
I合計	1.9%	2.2%	4.4%	8.7%	10.4%	8.9%	8.3%	10.2%	13.8%	16.6%	14.6%
J合計	2.4%	2.9%	4.9%	8.6%	11.5%	12.4%	11.2%	11.2%	12.1%	12.1%	10.8%
K合計	2.2%	2.6%	5.0%	9.2%	10.5%	11.2%	10.0%	8.5%	10.9%	13.4%	16.4%
L合計	2.3%	3.0%	6.4%	10.9%	12.8%	13.2%	9.7%	9.0%	10.1%	12.0%	10.6%
宮城県	2.0%	2.4%	4.7%	8.4%	9.6%	10.7%	10.2%	10.2%	11.7%	14.1%	15.8%

# (参考) 検診機関毎の受診者年齢構成割合 (2022 (R4) 年度)

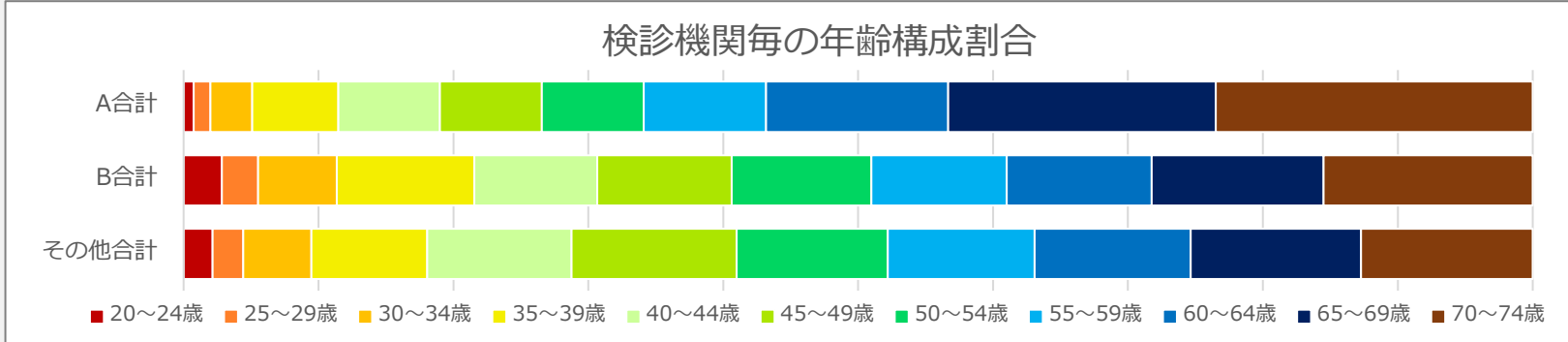
年齢構成割合 (2022 (R4) 年、20～74歳、女性)



(参考) 各プロセス指標（3つの検診機関に再分類）



プロセス指標（20-74歳）					結果内訳（3年平均）											
20-74	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度	受診者数	要精検者数	精検受診者数	異常なし	がん	AIS	CIN3	CIN2	CIN3、2区別不能	CIN1	疑いのある者又は未確定	以外の疾患
A合計	93.4%	0.88%	0.050%	5.70%	24,522	216	202	2	2	1	9	23	0	57	3	104
B合計	96.0%	2.02%	0.109%	5.39%	34,546	699	671	389	4	7	27	49	1	185	9	1
その他合計	96.4%	1.14%	0.089%	7.84%	50,694	578	557	16	9	3	34	73	0	199	1	224



(参考)

検診機関Aと  
その他の検診機関  
の病理診断機関は  
検診機関A

検診機関Bは、  
検診機関Bで病理  
診断を実施

- 検査人数（受診者数）や年齢構成は、検診機関によって異なり、CIN 3 以上がん発見率、陽性反応適中度にはバラつきがみられた。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします